

一 般 質 問 通 告 書

順序	氏 名	質 問 事 項	要 旨
1	8 番 谷 口 隆 徳	<p>1 . 新市土別のまちづくりビジョンと道北地方における土別の役割について</p> <p>2 . 朝日特例区の活用について</p>	<p>(1) 行財政改革が、土別市のこれからの課題となると思われるが、少子高齢化という社会にあって、福祉の向上と安心して暮らすことのできるまちづくりについて、これからの改革の推進とまちづくりビジョンは。</p> <p>(2) 道北地方における土別の役割と今後の方向について</p> <p>(1) 特例区事務事業を踏まえて、今後の特例区の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林活用の健康の森づくり ・自然と触れ合う体験型観光の環境整備 ・森林育成のための国の施策と地域振興対策など <p>(2) 上川北部観光ルートの開発について</p> <p>高速道路の延長による利便性や朝日地区の自然環境の、他と比べて優位なものであることなど広域的な視点で観光開発を進めていくことは</p> <p>(3) 特例区協議会（準備会）の委員の人選と協議会についての考え方について</p>

順序	氏 名	質 問 事 項	要 旨
2	28番 齊 藤 昇	1．市政執行方針について 2．観光の振興について 3．職員減数の年次計画について 4．合併特例債の活用について	(1) 合併の効果を最大限に生かす市政 (1) 天塩岳道立自然公園の整備 (2) 岩尾内湖の観光開発の促進 (3) サフォークめん羊の増産
3	5番 柿 崎 由美子	1．土別中学校新校舎周辺の防犯灯について 2．産直野菜売場の支援について 3．アスベスト対策について	(1) 旧共済組合倉庫の照明設備について
4	12番 山 居 忠 彰	1．新市長による「市政執行方針」の具体化について 2．朝日上土別南1号線道路における一部未整備区間の道路整備計画について 3．農家が素直に喜べない今年の稔り豊かな出来秋について	(1) 「融和と一体感」のもとに合併効果を発揮し、将来にわたるランドデザインとその方策の具現化をいかに図って「新しいまちの新しい力」とするか。 (1) 合併による旧市町の均衡ある発展を支える大動脈、朝日から土別市街へアクセスする唯一の市道の整備を、もっと急ぐべきではないか。 (1) 稲作農家が窮地に立たされている。豊作を喜べないどころか、米価の過去最安値更新や原油高などで経営努力も限界だ。米が過剰となり、集荷円滑化対策の実効確保の徹底や行政の指導・支援の強化、

順序	氏 名	質 問 事 項	要 旨
			政府備蓄米の早期買い入れなど、声を大にして働きかけるべきではないか。
5	6番 池 田 亨	1．市政執行方針について 2．市が保有する宅地等遊休資産の現況と価格について 3．景気動向と雇用について 4．燃料用油類高騰が本市経済に及ぼす影響について（農業・製造業・交通運輸・その他） 5．安全管理について	
6	26番 菅 原 清一郎	1．地域振興対策について 指定金融機関について 土別ハイヤー朝日営業所の存続について 観光振興対策について 合併特例区について	(1) 土別信用金庫は旧朝日町では指定金融機関であったが、合併によって営業店舗の規模縮小の危険性や雇用の減少、そして利用者の利便性などが懸念されることから「市の指定金融機関の変更」はできないか (1) 土別ハイヤー(株)は旧朝日町の営業所の廃止を提案されたが、朝日地区住民の足の確保はできないか (1) 朝日町観光協会の今後の位置づけは。また運営方法はどうか。イベント(湖水祭り)主催のあり方と予算は。 (1) 事務事業のかかわりを本所でもするべきだが。協議会委員の選任方法については公平

順序	氏 名	質 問 事 項	要 旨
			な立場でやるのは当然だが、公募によつての選任は。そして合併特例区を活用してのまちづくりの基本姿勢は。
7	19番 寺 下 亘	1．農政について	(1) 食糧の自給率について (2) 農協、農業委員会の解体論と動きについて (3) 水稲や、畑作物の今後の動向について (4) B S E、火傷病、遺伝子組換食品等について
8	14番 小 貫 勝太郎	1．市主催の「(仮称)市民と市長の対話の集い」開催を 2．未来を担う子供たちとの対話の機会をつくること 3．自然、環境教育活動の一層の推進を	(1) 市民が参加しやすい規模で (2) 女性、青年層などセッションごとの開催も (3) 開催経過概要は、広報しべつに掲載 (1) 小・中学生、高校生の希望や悩みは市政に反映
9	22番 齋 藤 敏 一	1．中小企業振興条例の改正について 2．まちづくり3法の経過について 3．コンパクトシティについて 4．カラス撃退効果のある黄色いごみ袋導入について	
10	13番 坂 本 勝 己	1．滞在型観光の拠点として、市民憩いの場、さらなる合宿者の受け入れに、ミニ翠月を朝日地区に	(1) 平成16年度の合宿の里の実績は、旧士別市が1万2,000人、旧朝日町が9,000人と2万人を超える合宿者の受け入

順序	氏名	質問事項	要旨
			<p>れがあります。両市町の合併によってこれをさらに2万5,000人、3万人に増やす取り組みを打ち出すべきと考えます。朝日町においては7月・12月に集中する宿泊者に対応できず、老人保健センターやトレーニングセンターの一部を宿泊施設として利用したり、宿泊者に不便をかけていたことなどから、予約を制限していたこともあり、これ以上の宿泊者の受け入れに対し宿泊施設が不足しているのが現状であります。また、岩尾内湖の観光温泉ホテルが老朽化に伴い廃業して以来、町民から温泉施設建設への強い要望がありましたが、単独の町として、その要望に応えられなかったのが現状であります。</p> <p>このたび、大きな土別市との合併によりその実現も夢ではないと考えるところであります。田苅子市長はこの合併を平成の合併の見本となるようなまちづくりをしておっしゃっていましたが、その評価は、一体となって繁栄することと、合併時の小さな自治体の合併後の姿にあると思います。合宿への活用、滞在</p>

順序	氏 名	質 問 事 項	要 旨
			<p>観光への対応、市民の憩いの場としての願いでもあります。温泉宿泊施設ミニ翠月を実現していただきたいと考えますが、市長の考えを伺いたいと思います。</p>
11	1 番 田 村 明 光	<p>1．特養の増築計画について</p> <p>2．社会福祉法人等による利用者負担の軽減について</p>	<p>(1) 土別市全体の増築計画と朝日美土里ハイツの増築計画は</p> <p>(2) 国は施設建築については、ユニット型個室の方向と聞かすがどうなのか</p> <p>そうになったら利用者負担はどう変わるのか</p> <p>(3) 現在の待機者数は</p> <p>(1) 今までの現状は</p> <p>(2) 条例改正で今までに加え、特養施設サービス、並びに食費、居住費、及び滞在費も対象となったことと対象者要件が利用者負担新3段階のうち所得の低い層まで拡大されたこと、又、軽減率が2分の1から4分の1に（第1段階は2分の1）引き下げられたことによってどう変わるのか（対象者、負担等）</p> <p>(3) 事業主体に負担を求めることになるが、軽減制度を実施するよう働きかけをするのか</p> <p>(4) 国が対象サービスとしている他に市独自で訪問入浴、通</p>

順序	氏 名	質 問 事 項	要 旨
			所りハビリなど対象サービスを増やす必要があるのでは
12	9番 川 崎 毅	1．市道朝日上土別南1号線 交点について 2．岩尾内湖神社山研修宿泊 施設建設について	(1) 朝日側の道々滝の上線との 交点が朝日側からの車の進入 がほぼ直角なため入りづら く、また急な減速をするため 追突や対向車との接触の危険 性があるので、朝日側からの 進入路を別に1本づくり、別 れ又でそれぞれ進入口と出口 を一方通行としてはどうか。 (1) 市政執行方針の中で観光の 振興を近年滞在・体験型観光 と言っていますが、神社山に 多目的な研修施設をつくって は。また、林間学校や野外授 業などを取り入れる。 道北の広域観光を進めるに は土別市の観光の目玉となる 拠点施設がほしい。また、冷 泉ながら神社山に温泉がきて いる。
13	29番 田 宮 正 秋	1．公共工事について 2．資金繰り円滑化借換保証 制度について 3．オストメイト対応トイレ について 4．広報紙の有料広告につい て	
14	3番 神 田 壽 昭	1．「新たな食料・農業・農 村基本計画」と新土別市農 業の対応策について	(1) 認定農業者の要件 (2) 農地利用集積策 (3) 新土別市農業・農村活性化

順序	氏名	質問事項	要旨
		2．上川の米、作況指数107について	計画
15	10番 小池 浩美	<p>1．国の介護保険改悪から市民を守る施策について</p> <p>2．石油高騰から暮らしを守る施策について</p> <p>3．アスベスト被害の調査及び対策について</p> <p>4．少人数学級の拡充について</p>	<p>(1) 要介護認定者の所得控除</p> <p>(2) 本市独自の負担軽減措置</p> <p>(3) 第3期介護保険事業計画</p> <p>(4) 新予防給付</p> <p>(5) 地域支援事業</p> <p>(1) 小学校第2学年まで</p>